

第 1 回モニター会議の意見の取扱いについて

＜厚生文教常任委員会所管＞

	意 見	対 応 (案)
子育て	・ 情報発信していると思うが、受け手には探さないと届かない ・ 障がいの子の制度について、人から聞いて知った。情報が届けば窓口対応も減ると思う。	意見として伺い、常任委員会内で共有します。
窓口対応	・ 町民も職員も同じ立場でコミュニケーションをとり、寄り添った中で感謝の言葉を口にしたい。	意見として伺い、常任委員会内で共有します。
子どもの参加	・ 高校の学祭をもっと盛り上げたい。高校の学祭に憧れて進学したがコロナ以降縮小されてしまい生徒による模擬店の許可が出ない。行燈行列も校庭のみとなり寂しい。生徒会が学校に交渉してみたが許可されなかった。	意見として伺い、常任委員会内で共有します。
子どもの居場所	・ こども（高校生）にとって楽しい地元であれば、大人になっても帰ってきたくなる。高校生が行きやすいカフェや溜まり場が欲しい	現在、教育委員会で中高生の放課後プログラムを実証的に実施し、交流の場を提供していることから、意見として伺い、常任委員会内で共有します。
中学校の制服やジャージ	・ 制服の着る頻度が少ないのに価格は高く負担が大きい	これまで、一般質問や予算決算審査の際に議員が教育委員会の考えを質しています。教育委員会と情報共有を行い、今後の調査の参考にします。
HPV ワクチン	・ 男子への補助がないこと	予算決算審査の際に複数の議員が何度か町の考えを質していますが、財政面において優先順位が高くないとの答弁があります。担当課との情報共有を行い、今後の調査の参考にします。

＜両常任委員会に関わるもの＞

まちなか再生・子どもの参加	・ 出身は埼玉県で大きな街で育つ。芽室の駅前のシャッターが閉まっているのが寂しく「自分が何かできないだろうか？」という気持ちを持てるのは、芽室のサイズ感が自分ごととして町の課題を考えられるのにちょうど良いのだと思う。とはいえ、子どもたちに楽しい思い出を作りたいので何か楽しいことができたかと考えている。	まちなか再生については、今年度、総務経済常任委員会が政策課題に掲げ調査に取り組んでおり、御意見を参考にしながら調査をします。
---------------	---	--

少子化対策・ 移住定住策	・人口減少と高齢化！人口が増えないと学校の存続やインフラ整備の面でも将来大変。	人口減少を見据えたまちづくりは重要な課題と捉えており、課題解決に向け、今後も調査をします。
子どもの参加・ まちなか再生	・高校生が遊べる場所が芽室にほしい。みんな帯広に遊びに行っている（カラオケなど）	まちなか再生については、今年度、総務経済常任委員会が政策課題に掲げ調査に取り組んでおり、御意見を参考にしながら調査をします。
子どもの参加 まちなか再生 都市計画	・（高校生の思いを聞いて）ぜひ一緒に頑張りましょう！まちなかのシャッターを開けることに協力したい（不動産業としても）。→高校の新聞局でも芽室のまちなかのことを取材して魅力発信してみる（高校生から） ・まちなかの空き物件を取り扱うこともあるが、商店ではなく一般住宅として利用されてしまうとまちなかの賑わいをつくるのが難しくなる。もし町が何かしらの規制などを設けられるなら計画的な再整備ができると思う。	まちなか再生については、今年度、総務経済常任委員会が政策課題に掲げ調査に取り組んでおり、御意見を参考にしながら調査をします。